三種町誕生20周年記念式典







町民歌斉唱

祝 三種町誕生20周年

10月16日、琴丘総合体育館において三種町誕生20周年記念式典が開催されました。

式典では、各分野で長年にわたり町政に貢献された個人・団体に対し、20周年記念表彰として表彰状と感謝状が贈呈されました。

お祝いのアトラクションでは、今年4月に開校した三種中学校の全校生徒による群読や校歌などが披露されました。

式典の最後には出席者全員で町民歌を斉唱し、20周年のお祝いとともに、輝く未来へ向けて思いを一つにしました。



町長式辞

本町は平成18年、琴丘町、山本町、八竜町の三町が合併して誕生し、本日20年の節目を迎えることができました。旧三町の歴史や文化を継承し、一体感の醸成に努めてこられた関係各位に対し、深く感謝申し上げます。

この20年間、本町は豊かな自然と、先人が築き上げてきた歴史・文化を誇りとし、協働によるまちづくりを進めてきました。

近年では、子育て交流施設みっしゅを開設し、妊娠から出産、子育てに関する切れ目のない相談サポートをはじめ、安心して産み育てられる環境づくりに力を入れてきました。

教育・保育の分野では、まちの将来を担う子どもたちが個性と創造力を伸ばし、健やかに成長できる環境を整えるため、小中学校の再編に取り組み、今年4月には町内3中学校を統合した三種中学校を開校しました。また保育料や学校給食費の無償化により、子育て世帯の経済的負担の軽減を図っています。小学校の再編では、令和9年度の山本小学校・八竜小学校の開校に向けて、施設整備を進めています。

さらに人口減少に伴う公共交通空白地域の課題に対しては、県内初の町内全域での住民共助によるふれあいバス・巡回バスの運行を開始し、地域の重要な交通網として定着しています。

こうした取り組みの結果、本町は「住み続けたいまちランキング秋田県版」で4年連続1位という高い評価をいただいています。

一方で、少子高齢化、医療体制の維持、老朽化した公共施設の再編、自然災害への備えなど、解決すべき課題は山積しています。これらの課題に立ち向かうため、今年度策定した「第2期三種町みらい創造プラン」に基づき、DXやGXの推進をはじめ、新たな視点と柔軟な発想をもち、時とともに変化する情勢を見極めながら、本町の将来像である「人・地域がつながり、元気を未来へつなぐまち」の実現に向けて、全力をあげて取り組んでいきます。

この度の20周年は、これまでの歩みを振り返り、郷土への誇りと愛着、そして地域の絆を深め、さらなる飛躍と発展に向けた新たな一歩を踏み出す覚悟と決意の時であると考えます。町民のみなさまとしっかりと手を携え、行政と一体となって未来へ向けて持続的に発展する新たな時代の三種町を共に創造したいと考えます。今後ともみなさまからの温かいご支援とご協力をお願い申し上げます。